

令和5年(2023年)8月9日
担当課:医療政策課
担当者:課長補佐(総括)須藤
電話:029-301-3155(直通)

医療機関及び事務担当者のメールアドレス流出について

医療政策課において、令和5年8月8日(火)の18時頃に、医療機関の担当者に対し、メールを一斉送信した際、誤ってメールアドレスが流出する案件が発生しましたので、お知らせします。

記

1 概要

(1) 事案の概要

8月8日(火)17時48分に救急医療機関(80機関)の担当者に救急医療の研修受講案内に関するメールを送信した際、宛先をBCCで送信すべきところ、誤ってTOで一斉送信した。

このため、受信者が他の受信者のメールアドレスを見られる状態となり、80医療機関の91メールアドレスが流出した。

(2) 流出した件数

80医療機関の91アドレス

※ うちアドレスのつづりから担当者個人のアドレスと推測されるもの26件

※ 医療機関からの依頼により、一部医療機関には複数のアドレスにメールを送信している。

(3) 発覚した経緯

メールを送信した職員本人が、後からメールを見返した際に、BCCとすべきところTOで送信したことに気付いた(8/8 19時頃)。

2 発覚後の対応

対象医療機関にメールを送信し、メールアドレスが流出した事案を謝罪するとともに、当該メールの削除を依頼した。(8月9日)

併せて、順次、電話にて改めて謝罪するとともに、当該メールの削除を依頼しているところ。

3 再発防止策

- BCCでのメール送信を再度徹底。
- 複数人でのチェックが完了しない限り、メールを送信しないよう課員に徹底。定期的実施状況を課長(総括)が確認。
- 当該事案を保健医療部全体に共有し、再発防止を徹底。